

# 契約キャベツ栽培講習会

やさい推進委員会予冷野菜部会は3月27日、本店で契約キャベツ栽培講習会を開き、生産者18人が参加しました。吉田種苗(株)吉田譲代表取締役が栽培ポイントを指導し、カルシウム不足または多量の堆肥施用により発生するチップバーンの予防ポイントとアブラムシなどの病害虫予防の徹底を呼び掛けました。

契約キャベツ栽培は4年目を迎えました。今年度は生産者約50人で830kgを作付けし、数量は500kgを計画しています。順調に推移していることから吉田社長も「契約先からの信頼のあかし」と生産者の方々を評価しました。定植は4月中旬から始まり、7月上旬から11月上旬にかけての安定供給をめざします。



## 2年目の契約南瓜 栽培から出荷の流れを確認

やさい推進委員会六戸地区予冷野菜部会は3月10日、六戸支店で契約南瓜説明会を開きました。17人の生産者が参加し、苗の引き渡しや栽培方法などを確認しました。

2年目となる契約南瓜栽培は、南瓜の多量消費地である山形県の業者へ出荷します。定植は4月中旬から育苗センターから苗の供給が始まり、①7月中旬から8月末まで②9月上旬から末日の2期での出荷を予定しています。

# 管内小学生が首都圏で特産PR 第3回春休みわくわく探検隊

農協観光青森支店とJAおいらせは4月3日から2日間、「春休みわくわく探検隊旅行」を開催しました。小学4年生から中学1年生までの17人(三沢地区11人、六戸地区6人)が参加し野菜販売体験を通して消費者との交流を図りました。

JA千葉みらい「しよいかーご千葉店」で長いも(真空)とにんにくのそれぞれ30個を販売しました。お客さんに積極的に声をかけPRしました。

また、東京ディズニーランド®を楽しんだり、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」で防災体験をしたり、春休みの楽しい思い出を作りました。



JA八戸管内のお友達と一緒に販売体験



前に出て積極的にPRします

# 営農座談会

JA営農部は営農座談会を各地区の集会所等で3月8日から2日間開き、各品目の栽培要点を指導しました。長いもの種芋不足から使用される切り芋の種芋栽培について準備と植え付けの注意点を説明し、種芋の切断は植え付け直前に作業するよう呼び掛けました。

JA指導課指導員と販売課職員、上北地域県民局農業普及振興室三沢分室の担当者が各地区を訪問し、主要作物である長いも、ごぼう、にんにくのほか、水稲やにんじん、キャベツなどの栽培ポイントを指導しました。特に台風等被害で深刻となった圃場の滞水対策として雨に強い畑作りを呼び掛け、緑肥の導入を促しました。



新森地区



冲山地区



十和田家畜保健所によるヨーネ病等の防疫対策の講習

# 肉牛・酪農合同講習会

3月17日、肉牛部会と酪農部会は合同で講習会を開きました。部会員23人が参加し、県の担当者と県畜産協会の担当者から①ヨーネ病・EBLの防疫対策②死亡牛緊急検査処理円滑化事業③人工授精・受精卵移植の受胎率の向上について学びました。

# カップリングパーティー開催

3月11日(土)、ホテルグランヒルつたやでJAおいらせカップリングパーティーを開きました。地域の農業者や後継者など8名と女性7名が参加しました。エムズネットワークの協力のもと、スイーツデコ小物作りや野菜の重さ当てゲームなどで交流を深めました。参加者同士の会話も弾み、会場の雰囲気は大変和やかとなり、最終的に2組のカップルが誕生しました。



作ったスイーツデコ小物



和やかにトークが弾む



1対1トーク(自己紹介)